

## 平成 29 年度決算説明資料

## 目次

I	平成 29 年度収支決算について	
1	収支の状況	
(1)	収支の概要	1P
(2)	収支の推移	2P
①	概要	2P
②	平成 28 年度決算との比較（病院別）	3P
II	平成 29 年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について	
1	資産・負債・純資産の状況	7P
2	施設整備・医療機器等購入について	8P
3	安佐市民病院の建替えについて	9P
4	企業債（移行前地方債債務）・長期借入金の状況	9P
5	留保資金の状況	9P
	資料編	
1	各年度決算比較	
(1)	収支の状況	11P
(2)	収入の状況	12P
(3)	支出の状況	17P

I 平成 29 年度収支決算について

1 収支の状況

(1) 収支の概要

平成 29 年度収支決算は、収入合計 565.0 億円に対し、支出合計は 567.3 億円で、差引損益は▲2.3 億円の赤字となった。

なお、この赤字▲2.3 億円は繰越欠損金して処理する予定である。

(表 1) 平成29年度収支決算

単位:億円

区 分		合 計 一般 1,482床 精神 28床 感染症 16床 計 1,526床	病 院 別				
			広島市民病院 一般 715床 精神 28床 計 743床	安佐市民病院 一般 527床	舟入市民病院 一般 140床 感染症 16床 計 156床	リハビリテーション病院 一般 100床 自立訓練施設 定員 60名	
収 入	医 業 収 益	入院収入	351.8	202.8	117.7	15.4	15.9
		外来収入	147.6	90.3	45.0	11.6	0.7
		計	499.4	293.1	162.7	27.0	16.6
		その他	9.6	5.2	2.1	2.0	0.3
		小 計	509.0	298.3	164.8	29.0	16.9
	運営費負担金・交付金	48.7	18.5	8.5	14.0	7.7	
	その他	7.3	3.6	1.7	1.1	0.9	
	合 計	565.0	320.4	175.0	44.1	25.5	
支 出	給与費	288.2	155.6	90.4	24.2	18.0	
	材料費	159.5	103.8	49.8	5.5	0.4	
	経費	68.9	35.0	20.8	8.4	4.7	
	減価償却費	42.4	24.6	12.1	3.5	2.2	
	その他	8.3	5.6	0.9	1.1	0.7	
	合 計	567.3	324.6	174.0	42.7	26.0	
差引損益		▲ 2.3	▲ 4.2	1.0	1.4	▲ 0.5	

※ 本部事務局分は、安佐市民病院整備室に係る支出を除き、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分している。

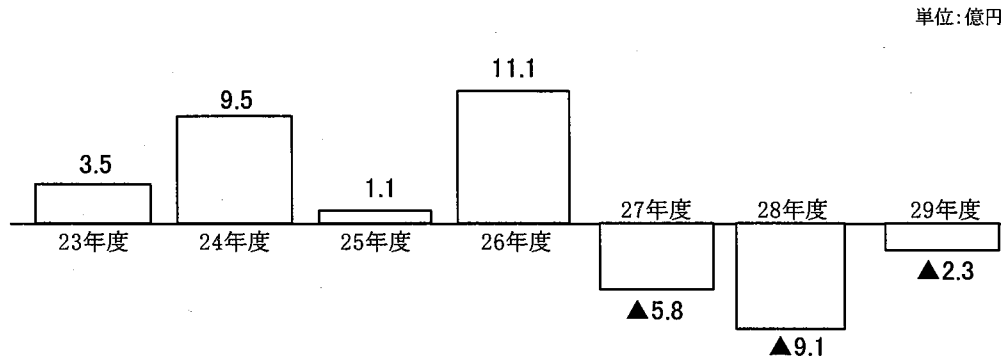
(按分比広島 47.0%、安佐 25.9%、舟入 15.7%、リハ 11.4%)

(2) 収支の推移

① 概要

平成 26 年度まで黒字を維持していたが、27 年度から収支が悪化し、28 年度は機構全体で▲9.1 億円の赤字を計上した。このため、職員一丸となって一層の経営改善に取り組んだ結果、赤字の解消には至らなかったものの、29 年度の▲2.3 億円は前年度と比べ 6.8 億円収支改善した。

(図 1) 4 病院の損益の推移



(表 2) 病院別内訳

単位: 億円

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	3.9	6.1	1.8	5.6	▲4.3	▲5.3	▲4.2
安佐市民病院	5.0	8.8	4.7	5.8	0.0	▲3.7	1.0
舟入市民病院	▲2.3	▲2.3	▲2.4	1.0	0.0	1.5	1.4
リハビリテーション病院	▲3.1	▲3.1	▲3.0	▲1.3	▲1.5	▲1.6	▲0.5
計	3.5	9.5	1.1	11.1	▲5.8	▲9.1	▲2.3

② 平成 28 年度決算との比較（病院別）

(7) 広島市民病院

収入については、入院収入は手術件数が増えたことなどにより 2.4 億円増加し、外来収入は化学療法の増加などによる診療単価の増により 1.3 億円増加（C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬を除くと 2.9 億円増）した。これにより、収入合計は前年度に比べ 4.3 億円増加した。

一方、支出については、給与費は定期昇給などにより 2.8 億円増加し、材料費は高額な C型肝炎新薬の使用の減少などにより▲2.0 億円減少し（C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬を除くと▲0.3 億円減）、経費は医療機器の保守業務の増などにより 1.3 億円増加し、また減価償却費は高精度放射線治療システム等の医療機器の償却費の増などにより 1.5 億円増加した。これにより、支出合計は前年度に比べ 3.2 億円増加した。

その結果、差引損益は、前年度に比べ 1.1 億円改善し▲4.2 億円の赤字となった。

(表 3) 収支の推移

区 分		第1期中期計画期間					第1期中期 計 画 額
		26年度	27年度	28年度	29年度	4か年合計	
収 入	入院収入	195.8	(197.3)	(199.9)	(202.4)	(795.4)	829.7
	対前年度増減	-	(1.5)	(2.6)	(2.5)	(▲ 34.3)	-
	外来収入	76.1	(80.7)	(81.5)	(84.4)	(322.7)	288.0
	対前年度増減	-	(4.6)	(0.8)	(2.9)	(34.7)	-
	小 計	271.9	(278.0)	(281.4)	(286.8)	(1,118.1)	1,117.7
	対前年度増減	-	(6.1)	(3.4)	(5.4)	(0.4)	-
	その他	6.2	5.5	5.1	5.2	22.0	26.2
	対前年度増減	-	▲ 0.7	▲ 0.4	0.1	▲ 4.2	-
	計	278.1	294.9	294.5	298.3	1,165.8	1,143.9
	対前年度増減	-	16.0	▲ 3.1	1.3	59.5	-
支 出	運営費負担金・交付金	17.2	17.5	18.6	18.5	71.8	72.9
	対前年度増減	-	0.3	1.1	▲ 0.1	▲ 1.1	-
	その他	3.3	2.7	3.0	3.6	12.6	19.8
	対前年度増減	-	▲ 0.6	0.3	0.6	▲ 7.2	-
	合 計	298.6	315.1	316.1	320.4	1,250.2	1,236.6
	対前年度増減	-	16.5	1.0	4.3	13.6	-
	給与費	143.2	148.8	152.8	155.6	600.4	602.6
	対前年度増減	-	5.6	4.0	2.8	▲ 2.2	-
	材料費	92.2	(97.3)	(98.1)	(97.8)	(385.4)	361.6
	対前年度増減	-	(5.1)	(0.8)	(▲ 0.3)	(23.8)	-
経費	31.6	31.9	33.7	35.0	132.2	146.8	
対前年度増減	-	0.3	1.8	1.3	▲ 14.6	-	
減価償却費	18.8	23.4	23.1	24.6	89.9	89.0	
対前年度増減	-	4.6	▲ 0.3	1.5	0.9	-	
その他	7.2	6.9	6.0	5.6	25.7	28.9	
対前年度増減	-	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 3.2	-	
合 計	293.0	319.4	321.4	324.6	1,258.4	1,228.9	
対前年度増減	-	26.4	2.0	3.2	29.5	-	
差引損益	5.6	▲ 4.3	▲ 5.3	▲ 4.2	▲ 8.2	7.7	
対前年度増減	-	▲ 9.9	▲ 1.0	1.1	▲ 15.9	-	

※1 ( )の数値は、薬価が高額で使用が急増したC型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オブジーボ」「キイトルーダ」を入院収入から27年度500万円、28年度0.5億円、29年度0.4億円、外来収入から27年度11.4億円、28年度7.5億円、29年度5.9億円、材料費から27年度11.1億円、28年度7.7億円、29年度6.0億円を除いたもの。

※2 26年度の数値は、26年度法人化移行時のみに生じる、収入、支出に同額が計上され収支に影響のない承継消耗品にかかる収支2.9億円を除いている。

※3 「その他」の内訳は、

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、移行前地方債利息及び雑支出

※4 「4か年合計」の「対前年度増減」欄の数値は、「第1期中期計画額」に対する増減額（「4か年合計」－「第1期中期計画額」）

(4) 安佐市民病院

収入については、入院収入は地域連携強化による新規入院患者数の増などにより5.2億円増加し（C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬を除くと5.6億円増）、外来収入はマルチスライスCTの更新などによる診療単価の増により1.8億円増加（C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬を除くと2.2億円増）した。

これにより、収入合計は前年度に比べ7.2億円増加した。

一方、支出については、給与費は定期昇給などにより0.4億円増加し、材料費は患者数の増などにより1.1億円増加し（C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬を除くと1.8億円増）、また経費は医療機器の修繕の増などにより1.1億円増加した。これにより、支出合計は前年度に比べ2.5億円増加した。

その結果、差引損益は、前年度に比べ4.7億円改善し1.0億円の黒字となった。

(表4) 収支の推移

単位:億円

区 分		第1期中期計画期間					第1期中期 計 画 額
		26年度	27年度	28年度	29年度	4か年合計	
収 入	入院収入	109.6	(107.5)	(111.5)	(117.1)	(445.7)	452.4
	対前年度増減	-	(▲ 2.1)	(4.0)	(5.6)	(▲ 6.7)	-
			▲ 0.6	3.5	5.2	▲ 3.6	
	外来収入	36.9	(38.1)	(39.7)	(41.9)	(156.6)	151.0
	対前年度増減	-	(1.2)	(1.6)	(2.2)	(5.6)	-
			4.2	2.1	1.8	15.2	
	小 計	146.5	(145.6)	(151.2)	(159.0)	(602.3)	603.4
	対前年度増減	-	(▲ 0.9)	(5.6)	(7.8)	(▲ 1.1)	-
			3.6	5.6	7.0	11.6	
	その他	2.3	2.2	2.0	2.1	8.6	8.6
対前年度増減	-	▲ 0.1	▲ 0.2	0.1	0.0	-	
計	148.8	152.3	157.7	164.8	623.6	612.0	
運営費負担金・交付金	7.9	8.9	8.7	8.5	34.0	34.2	
対前年度増減	-	1.0	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	-	
その他	1.4	1.2	1.4	1.7	5.7	6.9	
対前年度増減	-	▲ 0.2	0.2	0.3	▲ 1.2	-	
合 計	158.1	162.4	167.8	175.0	663.3	653.1	
対前年度増減	-	4.3	5.4	7.2	10.2	-	
支 出	給与費	82.7	85.1	90.0	90.4	348.2	352.4
	対前年度増減	-	2.4	4.9	0.4	▲ 4.2	-
	材料費	42.0	(43.5)	(44.4)	(46.2)	(176.1)	167.2
	対前年度増減	-	(1.5)	(0.9)	(1.8)	(8.9)	-
			5.9	0.8	1.1	21.2	
	経費	17.8	17.8	19.7	20.8	76.1	82.6
	対前年度増減	-	0.0	1.9	1.1	▲ 6.5	-
	減価償却費	8.4	10.8	12.3	12.1	43.6	42.1
	対前年度増減	-	2.4	1.5	▲ 0.2	1.5	-
	その他	1.4	0.8	0.8	0.9	3.9	6.3
対前年度増減	-	▲ 0.6	0.0	0.1	▲ 2.4	-	
合 計	152.3	162.4	171.5	174.0	660.2	650.6	
対前年度増減	-	10.1	9.1	2.5	9.6	-	
差引損益	5.8	0.0	▲ 3.7	1.0	3.1	2.5	
対前年度増減	-	▲ 5.8	▲ 3.7	4.7	0.6	-	

※1 ( )の数値は、薬価が高額で使用が急増したC型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オブジーボ」「キイトルーダ」を入院収入から27年度1.5億円、28年度1.0億円、29年度0.6億円、外来収入から27年度3.0億円、28年度3.5億円、29年度3.1億円、材料費から27年度4.4億円、28年度4.3億円、29年度3.6億円を除いたもの。

※2 26年度の数値は、26年度法人化移行時のみ生じる、収入、支出に同額が計上され収支に影響のない承継消耗品にかかる収支1.7億円を除いている。

※3 「その他」の内訳は、

① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益

② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等

③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、移行前地方債利息及び雑支出

※4 「4か年合計」の「対前年度増減」欄の数値は、「第1期中期計画額」に対する増減額（「4か年合計」-「第1期中期計画額」）

(ウ) 舟入市民病院

収入については、入院収入は患者数の減などにより▲1.2億円減少し、外来収入は救急患者数の増などにより0.2億円増加し、また運営費負担金・交付金は企業債元金償還金繰入の増などにより0.5億円増加した。これにより、収入合計は前年度に比べ▲0.4億円減少した。

一方、支出については、給与費は定期昇給などにより0.7億円増加し、材料費は患者数の減などにより▲0.5億円減少し、また減価償却費は本館搬送設備などの償却の終了により▲0.6億円減少した。これにより、支出合計は前年度に比べ▲0.3億円減少した。

その結果、差引損益は、前年度に比べ▲0.1億円減少したものの1.4億円の黒字となった。

(表5) 収支の推移

区分		第1期中期計画期間					第1期中期計画額
		26年度	27年度	28年度	29年度	4か年合計	
収入	入院収入	15.5	16.1	16.6	15.4	63.6	57.4
	対前年度増減	-	0.6	0.5	▲1.2	6.2	-
	外来収入	11.7	11.6	11.4	11.6	46.3	51.9
	対前年度増減	-	▲0.1	▲0.2	0.2	▲0.6	-
	小計	27.2	27.7	28.0	27.0	109.9	109.3
	対前年度増減	-	0.5	0.3	▲1.0	0.6	-
	その他	1.0	1.4	1.9	2.0	6.3	4.0
	対前年度増減	-	0.4	0.5	0.1	2.3	-
	計	28.2	29.1	29.9	29.0	116.2	113.3
	運営費負担金・交付金	10.2	12.8	13.5	14.0	50.5	50.2
対前年度増減	-	2.6	0.7	0.5	0.3	-	
その他	1.0	1.0	1.1	1.1	4.2	3.8	
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.0	0.4	-	
合計	39.4	42.9	44.5	44.1	170.9	167.3	
対前年度増減	-	3.5	1.6	▲0.4	3.6	-	
支出	給与費	20.6	23.1	23.5	24.2	91.4	89.1
	対前年度増減	-	2.5	0.4	0.7	2.3	-
	材料費	5.8	6.3	6.0	5.5	23.6	25.6
	対前年度増減	-	0.5	▲0.3	▲0.5	▲2.0	-
	経費	7.9	8.5	8.1	8.4	32.9	36.2
	対前年度増減	-	0.6	▲0.4	0.3	▲3.3	-
	減価償却費	2.7	3.7	4.1	3.5	14.0	8.0
	対前年度増減	-	1.0	0.4	▲0.6	6.0	-
	その他	1.4	1.3	1.3	1.1	5.1	6.4
	対前年度増減	-	▲0.1	0.0	▲0.2	▲1.3	-
合計	38.4	42.9	43.0	42.7	167.0	165.3	
対前年度増減	-	4.5	0.1	▲0.3	1.7	-	
差引損益	1.0	0.0	1.5	1.4	3.9	2.0	
対前年度増減	-	▲1.0	1.5	▲0.1	1.9	-	

※1 26年度の数値は、26年度法人化移行時のみに生じる、収入、支出に同額が計上され収支に影響のない承継消耗品にかかる収支0.3億円を除いている。

※2 「その他」の内訳は、

① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益

② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等

③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、移行前地方債利息及び雑支出

※3 「4か年合計」の「対前年度増減」欄の数値は、「第1期中期計画額」に対する増減額（「4か年合計」-「第1期中期計画額」）

(I) リハビリテーション病院・自立訓練施設

収入については、入院収入はリハビリ実施数の増などにより0.5億円増加し、外来収入は外来リハビリテーションの受入数の増による患者数の増などにより0.2億円増加し、また運営費負担金・交付金は企業債元金償還金繰入の増などにより1.3億円増加した。これにより、収入合計は前年度に比べ1.9億円増加した。

一方、支出については、給与費は定期昇給などにより1.0億円増加し、経費は365日リハに対応した清掃業務の充実による委託料の増加などにより0.4億円増加し、また企業債利息の減少により、その他が▲0.3億円減少した。これにより、支出合計は前年度に比べ0.8億円増加した。

その結果、差引損益は、前年度に比べ1.1億円改善し▲0.5億円の赤字となった。

(表6) 収支の推移

区分		第1期中期計画期間					第1期中期計画額
		26年度	27年度	28年度	29年度	4か年合計	
収入	入院収入	15.3	15.3	15.4	15.9	61.9	60.7
	対前年度増減	-	0.0	0.1	0.5	1.2	-
	外来収入	0.4	0.4	0.5	0.7	2.0	1.9
	対前年度増減	-	0.0	0.1	0.2	0.1	-
	小計	15.7	15.7	15.9	16.6	63.9	62.6
	対前年度増減	-	0.0	0.2	0.7	1.3	-
	その他	0.3	0.3	0.3	0.3	1.2	1.1
	計	16.0	16.0	16.2	16.9	65.1	63.7
	運営費負担金・交付金	5.7	7.0	6.4	7.7	26.8	27.4
	対前年度増減	-	1.3	▲0.6	1.3	▲0.6	-
その他	1.0	1.0	1.0	0.9	3.9	3.6	
対前年度増減	-	0.0	0.0	▲0.1	0.3	-	
合計	22.7	24.0	23.6	25.5	95.8	94.7	
対前年度増減	-	1.3	▲0.4	1.9	1.1	-	
支出	給与費	15.5	16.6	17.0	18.0	67.1	64.3
	対前年度増減	-	1.1	0.4	1.0	2.8	-
	材料費	0.5	0.5	0.5	0.4	1.9	2.3
	対前年度増減	-	0.0	0.0	▲0.1	▲0.4	-
	経費	4.4	5.0	4.3	4.7	18.4	17.6
	対前年度増減	-	0.6	▲0.7	0.4	0.8	-
	減価償却費	2.0	2.1	2.4	2.2	8.7	8.4
	対前年度増減	-	0.1	0.3	▲0.2	0.3	-
	その他	1.6	1.3	1.0	0.7	4.6	5.7
	対前年度増減	-	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲1.1	-
合計	24.0	25.5	25.2	26.0	100.7	98.3	
対前年度増減	-	1.5	▲0.3	0.8	2.4	-	
差引損益	▲1.3	▲1.5	▲1.6	▲0.5	▲4.9	▲3.6	
対前年度増減	-	▲0.2	▲0.1	1.1	▲1.3	-	

※1 26年度の数値は、26年度法人化移行時のみ生じる、収入、支出に同額が計上され収支に影響のない承継消耗品にかかる収支0.4億円を除いている。

※2 「その他」の内訳は、

① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、予防接種等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益

② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益等の財務収益及び駐車場使用料等

③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、移行前地方債利息及び雑支出

※3 「4か年合計」の「対前年度増減」欄の数値は、「第1期中期計画額」に対する増減額（「4か年合計」-「第1期中期計画額」）

## II 平成 29 年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

### 1 資産・負債・純資産の状況

#### (1) 固定資産

中央棟空調設備改修工事やSPECT/CT核医学検査装置購入などにより21.3億円増加したものの、減価償却等により▲41.0億円減少したことから▲19.7億円減の532.7億円となった。

#### (2) 流動資産

投資有価証券の満期により現金預金とその他が72.8億円増減したものの、全体としては大きな変動はなく▲0.1億円減の231.5億円となった。

#### (3) 固定負債

施設整備や医療機器購入などの財源として、広島市から長期借入金を借り入れ30.2億円増加したものの、移行前地方債の償還などにより▲37.3億円減少したことから▲7.1億円減の469.0億円となった。

#### (4) 流動負債

施設整備、医療機器購入などに係る未払金、一年以内に返済予定の移行前地方債償還債務がともに減少したことなどにより▲11.2億円減の104.1億円となった。

#### (5) 資本金

資本金は、広島市からの出資金193.9億円で、期首から増減はない。

#### (6) 資本剰余金

リハビリテーション病院の土地に対する移行前地方債の償還にかかる広島市からの運営費負担金などにより0.8億円を計上し3.3億円となった。

#### (7) 繰越欠損金

前年度からの繰越欠損金▲3.8億円と当期総損失▲2.3億円を合わせた▲6.1億円となった。

(表7) 貸借対照表(全体)

区 分		期 首 (29年4月1日)	期 末 (30年3月31日)	増 ▲ 減
資 産				
固 定 資 産		552.4	532.7	▲ 19.7
流 動 資 産		231.6	231.5	▲ 0.1
現 金 預 金		64.3	136.6	72.3
未 収 金		91.3	92.8	1.5
そ の 他		76.0	2.1	▲ 73.9
合 計		784.0	764.2	▲ 19.8
負 債				
固 定 負 債		476.1	469.0	▲ 7.1
流 動 負 債		115.3	104.1	▲ 11.2
未 払 金		51.7	49.1	▲ 2.6
そ の 他 流 動 負 債		63.6	55.0	▲ 8.6
計		591.4	573.1	▲ 18.3
純 資 産				
資 本 金		193.9	193.9	0.0
設 立 団 体 出 資 金		193.9	193.9	0.0
資 本 剰 余 金		2.5	3.3	0.8
繰 越 欠 損 金		▲ 3.8	▲ 6.1	▲ 2.3
計		192.6	191.1	▲ 1.5
合 計		784.0	764.2	▲ 19.8



## 2 施設整備・医療機器等購入について

### (1) 概要

施設整備・医療機器等購入については、中期計画で安佐市民病院の建替えに係る整備費を除き 26～29年度の4か年の事業費総額 147.8 億円を定め、その範囲内で必要な整備を行った。29年度の決算額は 21.3 億円で、4か年の合計は 135.7 億円となり、中期計画との差額は 12.1 億円であった。この差額のうち、広島市民病院の医療機器 1.5 億円は 30 年度で購入することとしており、残額の 10.6 億円は執行残である。

なお、決算額 21.3 億円の財源としては、広島市からの長期借入金のほか、施設整備については、舟入市民病院の感染症病棟東側改修工事に伴う広島県からの補助金が 0.4 億円、医療機器等購入については、広島市民病院・安佐市民病院で合計 0.2 億円の留保資金を活用した。

### (2) 施設整備

施設整備は、広島市民病院が中央棟地下1階給食センター改修工事外 5.0 億円、安佐市民病院が放射線科CT装置電気工事外 0.3 億円、舟入市民病院が本館7階感染症病棟東側改修工事外 1.8 億円、リハビリテーション病院が自立訓練施設2階便所改修工事 0.1 億円の合計 7.2 億円を実施した。

### (3) 医療機器等購入

医療機器等は、広島市民病院がSPECT/CT核医学検査装置外 8.9 億円、安佐市民病院がマルチスライスCT 4.4 億円、舟入市民病院が回診用X線撮影装置外 0.7 億円、リハビリテーション病院が血液分析装置外 0.1 億円の合計 14.1 億円を購入した。

(表8) 平成29年度施設整備・医療機器等購入の内訳

単位:億円

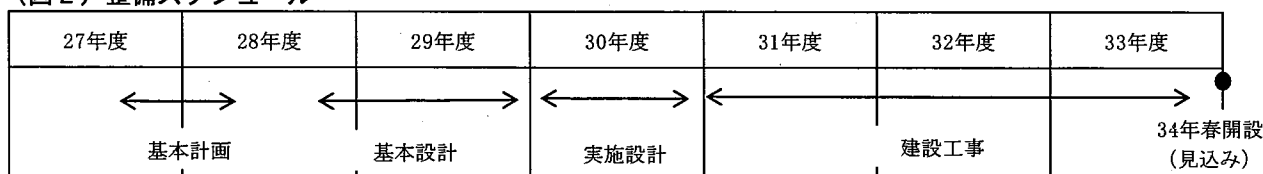
区分	中期計画 ①	26～28年度 決算②	29年度決算 ③	合計 ④(②+③)	差引 ①-④	財源	主な整備内容	
広島市民病院	施設整備	26.7	21.7	<b>5.0</b>	26.7	0.0	長期借入金	中央棟地下1階給食センター改修工事外
	医療機器等購入	(34.1)	(29.3)	<b>(0.0)</b>	(29.3)	(4.8)	留保資金 長期借入金	SPECT/CT核医学検査装置外
	電子カルテ更新整備	15.2	12.6	-	12.6	2.6	長期借入金	
	計	(34.1)	(29.3)	(0.0)	(29.3)	(4.8)		
安佐市民病院	施設整備	5.2	3.5	<b>0.3</b>	3.8	1.4	長期借入金	放射線科CT装置電気工事外
	医療機器等購入	(15.2)	(13.6)	<b>(0.2)</b>	(13.8)	(1.4)	留保資金 長期借入金	マルチスライスCT外
	電子カルテ更新整備	11.3	8.8	-	8.8	2.5	長期借入金	
	計	(15.2)	(13.6)	(0.2)	(13.8)	(1.4)		
舟入市民病院	施設整備	-	-	<b>(0.4)</b>	(0.4)	(▲ 0.4)	補助金 長期借入金	本館7階感染症病棟東側改修工事外
	医療機器等購入	0.5	1.5	<b>1.8</b>	3.3	▲ 2.8	長期借入金	回診用X線撮影装置外
	電子カルテ更新整備	4.6	5.0	<b>0.7</b>	5.7	▲ 1.1	長期借入金	
	計	6.8	5.4	-	5.4	1.4	長期借入金	
リハビリテーション病院	施設整備	-	-	<b>(0.4)</b>	(0.4)	(▲ 0.4)	補助金 長期借入金	自立訓練施設2階便所改修工事
	医療機器等購入	0.4	0.7	<b>0.1</b>	0.8	▲ 0.4	長期借入金	血液分析装置外
	電子カルテ更新整備	0.0	2.5	-	2.5	▲ 2.5	長期借入金	
	計	0.4	3.2	0.2	3.4	▲ 3.0		
合計	施設整備	-	-	<b>(0.4)</b>	(0.4)	(▲ 0.4)	補助金 長期借入金	
	医療機器等購入	32.4	26.7	<b>7.2</b>	33.9	▲ 1.5	留保資金 長期借入金	
	電子カルテ更新整備	(49.3)	(42.9)	<b>(0.2)</b>	(43.1)	(6.2)	留保資金 長期借入金	
	計	82.1	58.4	<b>14.1</b>	72.5	9.6	長期借入金	
合計	施設整備	33.3	29.3	-	29.3	4.0	長期借入金	
	医療機器等購入	(49.3)	(42.9)	<b>(0.6)</b>	(43.5)	(5.8)		
	電子カルテ更新整備	147.8	114.4	<b>21.3</b>	135.7	12.1		
	計	(49.3)	(42.9)	<b>(0.6)</b>	(43.5)	(5.8)		

※ ( )内の数値は、留保資金及び補助金を財源として購入した額で、下段の内数。

### 3 安佐市民病院の建替えについて

荒下地区に整備する病院について、整備費 312.7 億円のうち 29 年度決算額は 1.8 億円で、基本設計及び工事監理等のうち設計監理を行った。

(図2) 整備スケジュール



(表9) 整備費の内訳

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計	
基本計画	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	
建替 整備 費	基本設計	-	1.3	-	-	-	-	1.3	
	工事監理等	-	0.5	1.5	2.2	2.8	2.7	0.1	9.8
	実施設計	-	-	4.0	-	-	-	-	4.0
	建設費	-	-	-	22.5	82.0	100.4	-	204.9
	土地購入費	-	-	-	19.2	-	-	-	19.2
	医療機器購入費	-	-	-	-	-	73.3	-	73.3
	-	1.8	5.5	43.9	84.8	176.4	0.1	312.5	
合計	0.2	1.8	5.5	43.9	84.8	176.4	0.1	312.7	

### 4 企業債(移行前地方債債務)・長期借入金の状況

企業債(移行前地方債債務)・長期借入金については、29年度中に 30.2 億円借入れ 49.5 億円の償還を行ったため、29年度末の残高は 362.5 億円となり、29年度期首残高から▲19.3 億円減少した。

(表10) 企業債(移行前地方債償還債務)・長期借入金の推移

単位:億円

区分	29年度期首残高 A	29年度中の借入・償還		29年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
		当期増加	当期減少		
広島市民病院	230.0	13.9	20.1	223.8	▲ 6.2
安佐市民病院	34.9	4.5	9.4	30.0	▲ 4.9
舟入市民病院	54.6	2.1	6.7	50.0	▲ 4.6
リハビリテーション病院	62.3	9.7	13.3	58.7	▲ 3.6
合計	381.8	<u>30.2</u>	<u>49.5</u>	<u>362.5</u>	<u>▲ 19.3</u>

### 5 留保資金の状況

留保資金は、28年度末残高は 177.6 億円であったが、29年度末残高は 179.9 億円となり、2.3 億円増加した。

(表11) 29年度末留保資金の病院別内訳

単位:億円

区分	28年度末残高 A	29年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
広島市民病院	88.6	90.2	1.6
安佐市民病院	63.6	66.8	3.2
舟入市民病院	25.4	22.9	▲ 2.5
リハビリテーション病院	-	-	-
合計	<u>177.6</u>	<u>179.9</u>	<u>2.3</u>

※ リハビリテーション病院は、減価償却前収支に収支不足が生じているため、留保資金が生じない。(不足分は全額市から繰入)

# 資 料 編

# 1 各年度決算比較

## (1) 収支の状況

(表1) 収支の推移

単位: 億円

区分	第1期中期計画期間					第1期中期計画額	
	26年度	27年度	28年度	29年度	4か年合計		
収入	入院収入	336.2	(336.2)	(343.4)	(350.8)	(1,366.6)	1,400.2
	対前年度増減	-	(0.0)	(7.2)	(7.4)	(▲ 33.6)	
			1.5	7.2	6.9	▲ 29.6	
	外来収入	125.1	(130.8)	(133.1)	(138.6)	(527.6)	492.8
	対前年度増減	-	(5.7)	(2.3)	(5.5)	(34.8)	
			20.1	▲ 1.1	3.5	69.2	
	小計	461.3	(467.0)	(476.5)	(489.4)	(1,894.2)	1,893.0
	対前年度増減	-	(5.7)	(9.5)	(12.9)	(1.2)	
			21.6	6.1	10.4	39.6	
	その他	9.8	9.4	9.3	9.6	38.1	39.9
	計	471.1	492.3	498.3	509.0	1,970.7	
	運営費負担金・交付金	41.0	46.2	47.2	48.7	183.1	184.7
	対前年度増減	-	5.2	1.0	1.5	▲ 1.6	
その他	6.7	5.9	6.5	7.3	26.4	34.1	
対前年度増減	-	▲ 0.8	0.6	0.8	▲ 7.7		
合計	518.8	544.4	552.0	565.0	2,180.2	2,151.7	
対前年度増減	-	25.6	7.6	13.0	28.5		
支出	給与費	262.0	273.6	283.3	288.2	1,107.1	1,108.4
	対前年度増減	-	11.6	9.7	4.9	▲ 1.3	
	材料費	140.5	(147.6)	(149.0)	(149.9)	(587.0)	556.7
	対前年度増減	-	(7.1)	(1.4)	(0.9)	(30.3)	
			22.6	▲ 2.1	▲ 1.5	67.4	
	経費	61.7	63.2	65.8	68.9	259.6	283.2
	対前年度増減	-	1.5	2.6	3.1	▲ 23.6	
	減価償却費	31.9	40.0	41.9	42.4	156.2	147.5
	対前年度増減	-	8.1	1.9	0.5	8.7	
	その他	11.6	10.3	9.1	8.3	39.3	47.3
	対前年度増減	-	▲ 1.3	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 8.0	
合計	507.7	550.2	561.1	567.3	2,186.3	2,143.1	
対前年度増減	-	42.5	10.9	6.2	43.2		
差引損益	11.1	▲ 5.8	▲ 9.1	▲ 2.3	▲ 6.1	8.6	
対前年度増減	-	▲ 16.9	▲ 3.3	6.8	▲ 14.7		

※1 ( )の数値は、薬価が高額で使用が急増したC型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オプジーボ」「キイトルーダ」を入院収入から27年度1.5億円、28年度1.5億円、29年度1.0億円、外来収入から27年度14.4億円、28年度11.0億円、29年度9.0億円、材料費から27年度15.5億円、28年度12.0億円、29年度9.6億円を除いたもの。

※2 26年度の数値は、26年度法人化移行時のみ生じる、収入、支出に同額が計上され収支に影響のない承継消耗品にかかる収支5.3億円を除いている。

※3 「その他」の内訳は、

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、移行前地方債利息及び雑支出

※4 「4か年合計」の「対前年度増減」欄の数値は、「第1期中期計画額」に対する増減額(「4か年合計」-「第1期中期計画額」)

## (2) 収入の状況

(表2) 入院収入

単位:億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	195.8	(197.3) 197.3	(199.9) 200.4	(202.4) 202.8
対前年度増減	-	(1.5) 1.5	(2.6) 3.1	(2.5) 2.4
安佐市民病院	109.6	(107.5) 109.0	(111.5) 112.5	(117.1) 117.7
対前年度増減	-	(▲ 2.1) ▲ 0.6	(4.0) 3.5	(5.6) 5.2
舟入市民病院	15.5	16.1	16.6	15.4
対前年度増減	-	0.6	0.5	▲ 1.2
リハビリテーション病院	15.3	15.3	15.4	15.9
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.5
計	336.2	(336.2) 337.7	(343.4) 344.9	(350.8) 351.8
対前年度増減	-	(0.0) 1.5	(7.2) 7.2	(7.4) 6.9

※ ( )の数値は、C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オプジーボ」「キイトルーダ」を除いた数値

(表3) 病床利用率

単位:%

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	95.6	96.3	95.8	96.3
対前年度増減	-	0.7	▲ 0.5	0.5
安佐市民病院	87.4	84.0	85.7	88.5
対前年度増減	-	▲ 3.4	1.7	2.8
舟入市民病院	(78.8) 76.8	(76.6) 74.2	(82.9) 77.0	(76.1) 72.9
対前年度増減	-	(▲ 2.2) ▲ 2.6	(6.3) 2.8	(▲ 6.8) ▲ 4.1
リハビリテーション病院	95.7	96.1	96.5	95.1
対前年度増減	-	0.4	0.4	▲ 1.4

※ 舟入市民病院の( )の数値は、内科・外科のみの数値

(表4) 入院患者数

単位:人

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	259,257	261,859	259,867	261,230
対前年度増減	-	2,602	▲ 1,992	1,363
安佐市民病院	168,208	162,072	164,893	170,206
対前年度増減	-	▲ 6,136	2,821	5,313
舟入市民病院	37,569	36,399	37,644	35,661
対前年度増減	-	▲ 1,170	1,245	▲ 1,983
リハビリテーション病院	34,934	35,178	35,225	34,710
対前年度増減	-	244	47	▲ 515
計	499,968	495,508	497,629	501,807
対前年度増減	-	▲ 4,460	2,121	4,178

(表5) 新規入院患者数

単位:人

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	20,776	20,869	20,781	20,748
対前年度増減	-	93	▲ 88	▲ 33
安佐市民病院	13,545	14,026	14,270	14,520
対前年度増減	-	481	244	250
舟入市民病院	3,751	3,805	3,789	3,727
対前年度増減	-	54	▲ 16	▲ 62
リハビリテーション病院	434	405	406	454
対前年度増減	-	▲ 29	1	48
計	38,506	39,105	39,246	39,449
対前年度増減	-	599	141	203

(表6) 平均在院日数

単位:日

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	11.5	11.5	11.5	11.6
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.1
安佐市民病院	11.4	10.6	10.6	10.7
対前年度増減	-	▲ 0.8	0.0	0.1
舟入市民病院	9.0	8.6	8.9	8.6
対前年度増減	-	▲ 0.4	0.3	▲ 0.3
リハビリテーション病院	79.2	95.2	91.5	79.2
対前年度増減	-	16.0	▲ 3.7	▲ 12.3

(表7) 入院単価/患者1人・1日当たり

単位:円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	75,533	(75,342) 75,360	(76,924) 77,119	(77,507) 77,648
対前年度増減	-	(▲ 191) ▲ 173	(1,582) 1,759	(583) 529
安佐市民病院	65,181	(66,321) 67,243	(67,595) 68,209	(68,810) 69,143
対前年度増減	-	(1,140) 2,062	(1,274) 966	(1,215) 934
舟入市民病院	41,200	44,130	44,002	43,419
対前年度増減	-	2,930	▲ 128	▲ 583
リハビリテーション病院	43,913	43,426	43,770	45,767
対前年度増減	-	▲ 487	344	1,997

※ ( )の数値は、C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オプジーボ」「キイトルーダ」を除いた数値

(表8) 手術件数

単位:件

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	8,718	9,097	9,301	9,735
対前年度増減	-	379	204	434
安佐市民病院	5,797	5,719	5,779	5,828
対前年度増減	-	▲ 78	60	49
舟入市民病院	637	583	666	649
対前年度増減	-	▲ 54	83	▲ 17
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	15,152	15,399	15,746	16,212
対前年度増減	-	247	347	466

※ 件数は、手術室で行った手術件数を集計

(表9) 救急患者数

単位:人

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	35,095	33,630	32,734	31,878
対前年度増減	-	▲ 1,465	▲ 896	▲ 856
安佐市民病院	11,017	11,133	10,904	11,066
対前年度増減	-	116	▲ 229	162
舟入市民病院	40,444	40,667	38,018	40,421
対前年度増減	-	223	▲ 2,649	2,403
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	86,556	85,430	81,656	83,365
対前年度増減	-	▲ 1,126	▲ 3,774	1,709

(表10) 外来収入

単位: 億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	76.1	(80.7)	(81.5)	(84.4)
対前年度増減	-	(4.6)	(0.8)	(2.9)
		16.0	▲ 3.1	1.3
安佐市民病院	36.9	(38.1)	(39.7)	(41.9)
対前年度増減	-	(1.2)	(1.6)	(2.2)
		4.2	2.1	1.8
舟入市民病院	11.7	11.6	11.4	11.6
対前年度増減	-	▲ 0.1	▲ 0.2	0.2
リハビリテーション病院	0.4	0.4	0.5	0.7
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.2
計	125.1	(130.8)	(133.1)	(138.6)
対前年度増減	-	(5.7)	(2.3)	(5.5)
		20.1	▲ 1.1	3.5

※ ( )の数値は、C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オプジーボ」「キイトルーダ」を除いた数値

(表11) 外来患者数

単位: 人

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	419,514	430,730	434,809	436,792
対前年度増減	-	11,216	4,079	1,983
安佐市民病院	192,717	194,674	197,938	196,552
対前年度増減	-	1,957	3,264	▲ 1,386
舟入市民病院	91,964	88,933	85,819	86,847
対前年度増減	-	▲ 3,031	▲ 3,114	1,028
リハビリテーション病院	3,610	3,362	4,178	4,908
対前年度増減	-	▲ 248	816	730
計	707,805	717,699	722,744	725,099
対前年度増減	-	9,894	5,045	2,355

(表12) 外来単価/患者1人・1日当たり

単位: 円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	18,135	(18,732)	(18,735)	(19,322)
対前年度増減	-	(597)	(3)	(587)
		3,241	▲ 911	206
安佐市民病院	19,124	(19,532)	(20,097)	(21,298)
対前年度増減	-	(408)	(565)	(1,201)
		1,965	773	1,024
舟入市民病院	12,731	13,064	13,344	13,422
対前年度増減	-	333	280	78
リハビリテーション病院	11,530	12,413	11,847	14,083
対前年度増減	-	883	▲ 566	2,236

※ ( )の数値は、C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オプジーボ」「キイトルーダ」を除いた数値



(表13-1) 運営費負担金・交付金の推移 (損益収支分)

単位:億円

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	17.2	17.5	18.6	18.5
対前年度増減	-	0.3	1.1	▲ 0.1
安佐市民病院	7.9	8.9	8.7	8.5
対前年度増減	-	1.0	▲ 0.2	▲ 0.2
舟入市民病院	10.2	12.8	13.5	14.0
対前年度増減	-	2.6	0.7	0.5
リハビリテーション病院	5.7	7.0	6.4	7.7
対前年度増減	-	1.3	▲ 0.6	1.3
計	41.0	46.2	47.2	48.7
対前年度増減	-	5.2	1.0	1.5

(表13-2) 運営費負担金・交付金の推移 (資本収支分)

単位:億円

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
安佐市民病院	0.0	0.0	0.0	0.9
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.9
舟入市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
リハビリテーション病院	1.2	1.2	1.2	1.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	1.2	1.2	1.2	2.1
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.9

(表14) 29年度運営費負担金・交付金の内訳

単位:億円

区 分	合 計	病 院 別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
1. 保健衛生行政(自立訓練施設分を含む)	3.6	0.2	0.2	0.9	2.3
2. 救急医療	14.9	9.0	2.6	3.3	-
3. 被爆者健診	0.3	-	-	0.3	-
4. 看護師養成	0.5	0.3	0.2	0.0	0.0
5. 特殊医療(リハビリテーション等)	4.3	0.0	1.8	-	2.5
6. 感染症医療	0.5	-	-	0.5	-
7. 小児医療	2.0	-	-	2.0	-
8. 院内保育	0.8	0.4	0.4	-	-
9. 企業債利息償還金	2.3	1.4	0.0	0.6	0.3
10. 医師等の研究研修に要する経費	0.8	0.4	0.2	0.1	0.1
11. 経営研修に要する経費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12. 共済組合追加費用	1.2	0.7	0.4	0.1	0.0
13. 退職手当(交付金)	0.5	-	-	0.5	-
14. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分を除く)	17.0	6.1	2.7	5.7	2.5
計	48.7	18.5	8.5	14.0	7.7
資本収支分					
企業債元金償還金(リハ病院土地取得分)	1.2	-	-	-	1.2
安佐市民病院建替整備分	0.9	-	0.9	-	-
計	2.1	-	0.9	-	1.2
合 計	50.8	18.5	9.4	14.0	8.9

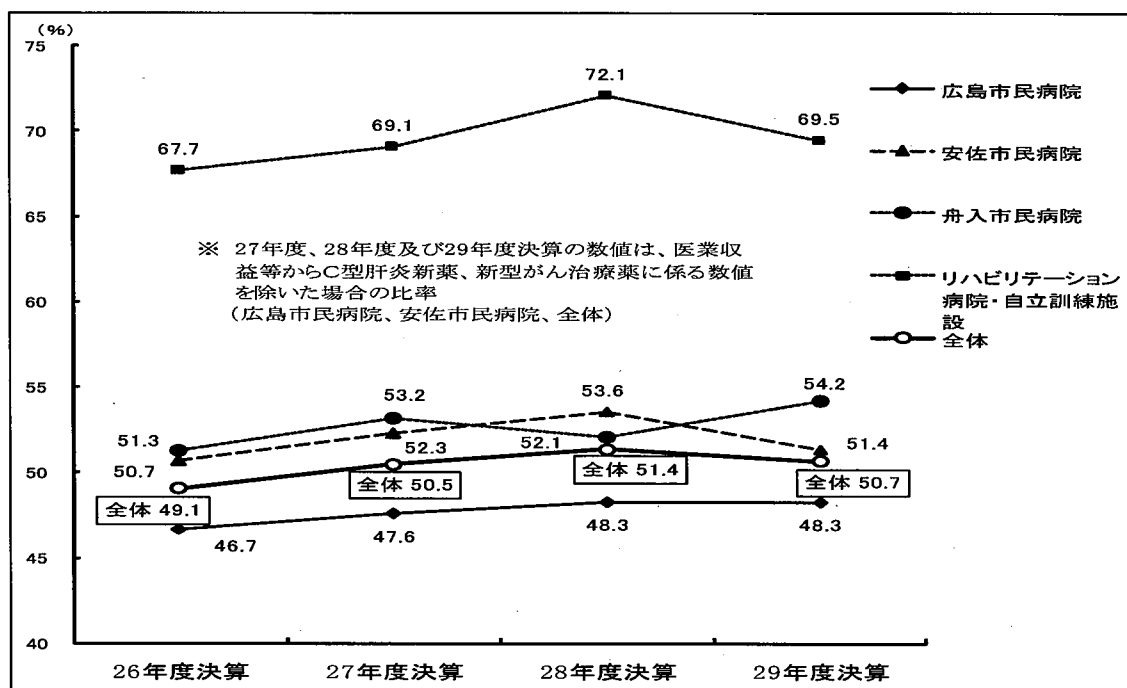
(3) 支出の状況

(表15) 給与費

単位: 億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	143.2	148.8	152.8	155.6
対前年度増減	-	5.6	4.0	2.8
安佐市民病院	82.7	85.1	90.0	90.4
対前年度増減	-	2.4	4.9	0.4
舟入市民病院	20.6	23.1	23.5	24.2
対前年度増減	-	2.5	0.4	0.7
リハビリテーション病院	15.5	16.6	17.0	18.0
対前年度増減	-	1.1	0.4	1.0
計	262.0	273.6	283.3	288.2
対前年度増減	-	11.6	9.7	4.9

(図1) 給与費対医業収益等比率



注 給与費対医業収益等比率=(給与費/医業収益等)×100

・給与費は退職給付費用を除く。また、本部事務局分の給与費は、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分し、各病院に加算している。

・医業収益等は、医業収益(「入院収入」+「外来収入」+「その他医業収入」)に「損益収支への繰入金」を加えたものとしており、事業報告書等に記載している「給与費対医業収益比率」とは異なっている。

(表16) 給与費の推移-職種別

単位:億円

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
医師	44.7	57.8	60.7	64.8	64.4
対前年度増減	-	13.1	2.9	4.1	▲ 0.4
看護師	103.5	110.5	116.8	121.5	123.8
対前年度増減	-	7.0	6.3	4.7	2.3
医療技術職	24.7	31.1	32.9	34.9	37.6
対前年度増減	-	6.4	1.8	2.0	2.7
事務	9.1	9.3	9.5	10.1	9.1
対前年度増減	-	0.2	0.2	0.6	▲ 1.0
業務員	0.7	0.6	0.5	0.5	0.8
対前年度増減	-	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	0.3
嘱託・臨時	49.9	41.6	43.3	41.3	41.8
対前年度増減	-	▲ 8.3	1.7	▲ 2.0	0.5

(表17) 正規職員数の推移

単位:人

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
医師	235	302	315	328	325
対前年度増減	-	67	13	13	▲ 3
看護師	1,314	1,322	1,383	1,439	1,441
対前年度増減	-	8	61	56	2
医療技術職	335	431	462	502	524
対前年度増減	-	96	31	40	22
事務	97	94	96	107	106
対前年度増減	-	▲ 3	2	11	▲ 1
業務員	9	8	8	8	13
対前年度増減	-	▲ 1	0	0	5
計	1,990	2,157	2,264	2,384	2,409
対前年度増減	-	167	107	120	25

※ 職員数は各月の給与支給人員の平均

(表18-1) 材料費

単位:億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	92.2	108.4	105.8	103.8
対前年度増減	-	16.2	▲ 2.6	▲ 2.0
安佐市民病院	42.0	47.9	48.7	49.8
対前年度増減	-	5.9	0.8	1.1
舟入市民病院	5.8	6.3	6.0	5.5
対前年度増減	-	0.5	▲ 0.3	▲ 0.5
リハビリテーション病院	0.5	0.5	0.5	0.4
対前年度増減	-	0.0	0.0	▲ 0.1
計	140.5	163.1	161.0	159.5
対前年度増減	-	22.6	▲ 2.1	▲ 1.5

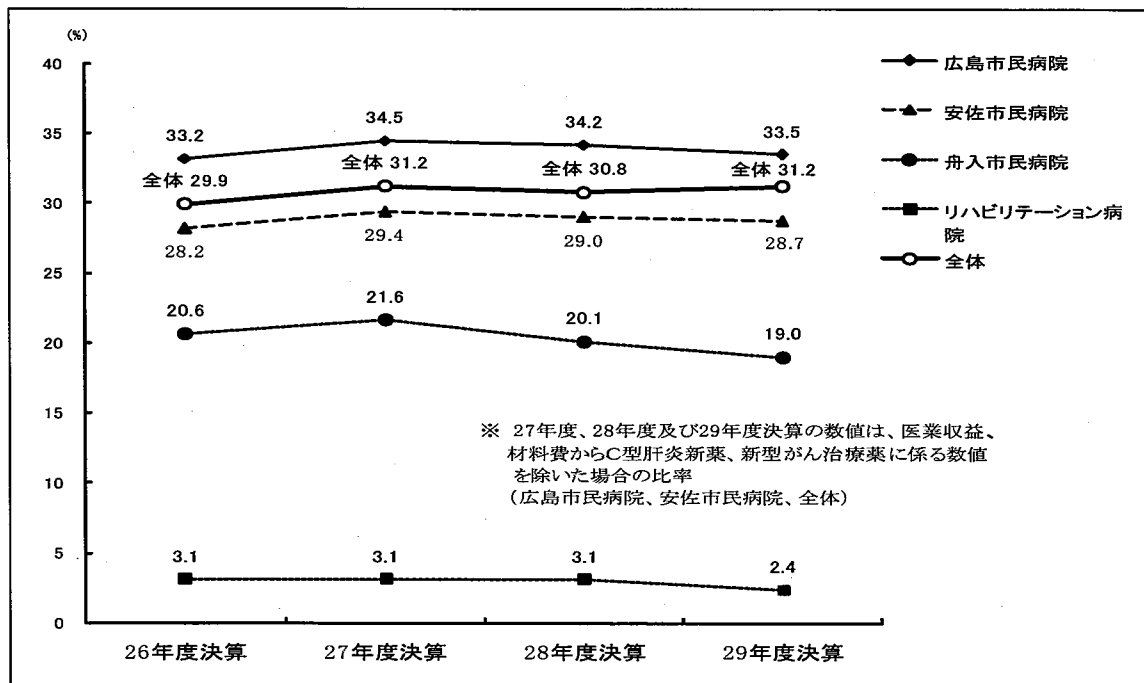
(表18-2) 材料費 (27、28、29年度決算からC型肝炎新薬等を除いた場合)

単位:億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	92.2	97.3	98.1	97.8
対前年度増減	-	5.1	0.8	▲ 0.3
安佐市民病院	42.0	43.5	44.4	46.2
対前年度増減	-	1.5	0.9	1.8
舟入市民病院	5.8	6.3	6.0	5.5
対前年度増減	-	0.5	▲ 0.3	▲ 0.5
リハビリテーション病院	0.5	0.5	0.5	0.4
対前年度増減	-	0.0	0.0	▲ 0.1
計	140.5	147.6	149.0	149.9
対前年度増減	-	7.1	1.4	0.9

※ 27、28、29年度からC型肝炎新薬、新型のがん治療薬「オプジーボ」「キイトルーダ」を除いている。

(図2) 材料費対医業収益比率



注 材料費対医業収益比率 = [材料費 / 医業収益 (入院収入 + 外来収入 + その他医業収入)] × 100

(表19-1) 材料費のうち薬品費

単位:億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	49.0	63.9	61.1	60.0
対前年度増減	-	14.9	▲ 2.8	▲ 1.1
安佐市民病院	24.6	29.2	30.0	30.5
対前年度増減	-	4.6	0.8	0.5
舟入市民病院	4.7	5.1	4.8	4.3
対前年度増減	-	0.4	▲ 0.3	▲ 0.5
リハビリテーション病院	0.4	0.4	0.3	0.3
対前年度増減	-	0.0	▲ 0.1	0.0
計	78.7	98.6	96.2	95.1
対前年度増減	-	19.9	▲ 2.4	▲ 1.1

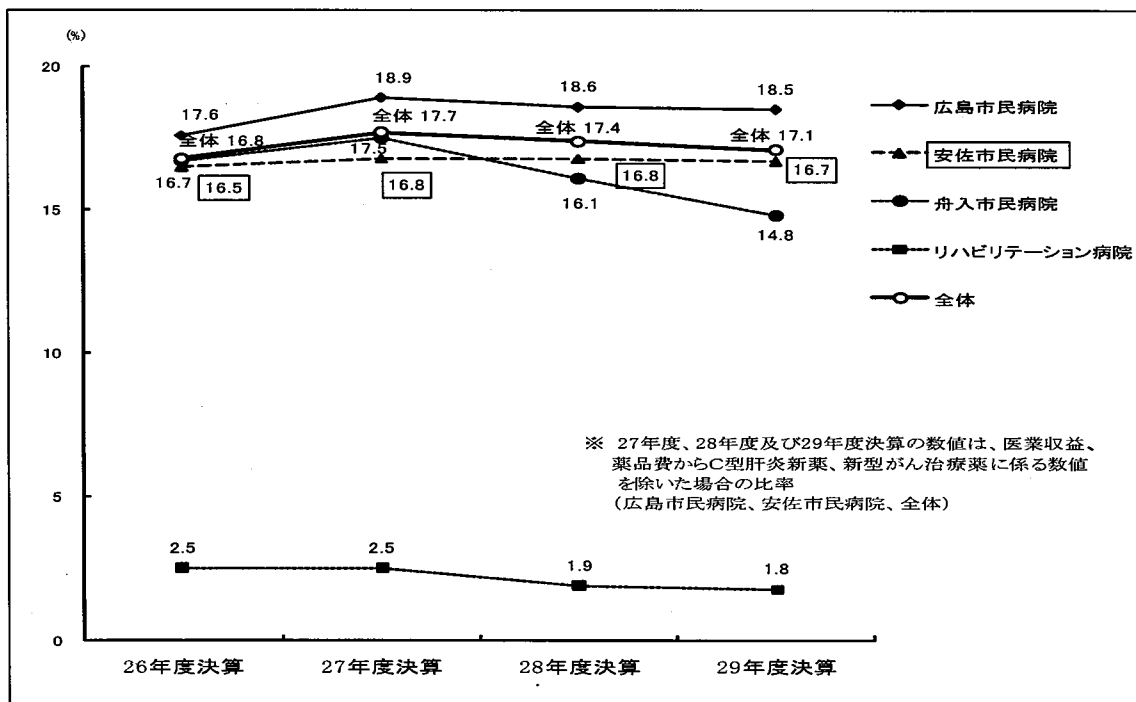
(表19-2) 材料費のうち薬品費 (27、28、29年度決算からC型肝炎新薬等を除いた場合)

単位:億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	49.0	53.6	53.4	54.0
対前年度増減	-	4.6	▲ 0.2	0.6
安佐市民病院	24.6	24.8	25.7	26.9
対前年度増減	-	0.2	0.9	1.2
舟入市民病院	4.7	5.1	4.8	4.3
対前年度増減	-	0.4	▲ 0.3	▲ 0.5
リハビリテーション病院	0.4	0.4	0.3	0.3
対前年度増減	-	0.0	▲ 0.1	0.0
計	78.7	83.9	84.2	85.5
対前年度増減	-	5.2	0.3	1.3

※ 27、28、29年度からC型肝炎新薬、新型のがん治療薬「オブジーボ」「キイトルーダ」を除いている。

(図3) 薬品費対収益比率



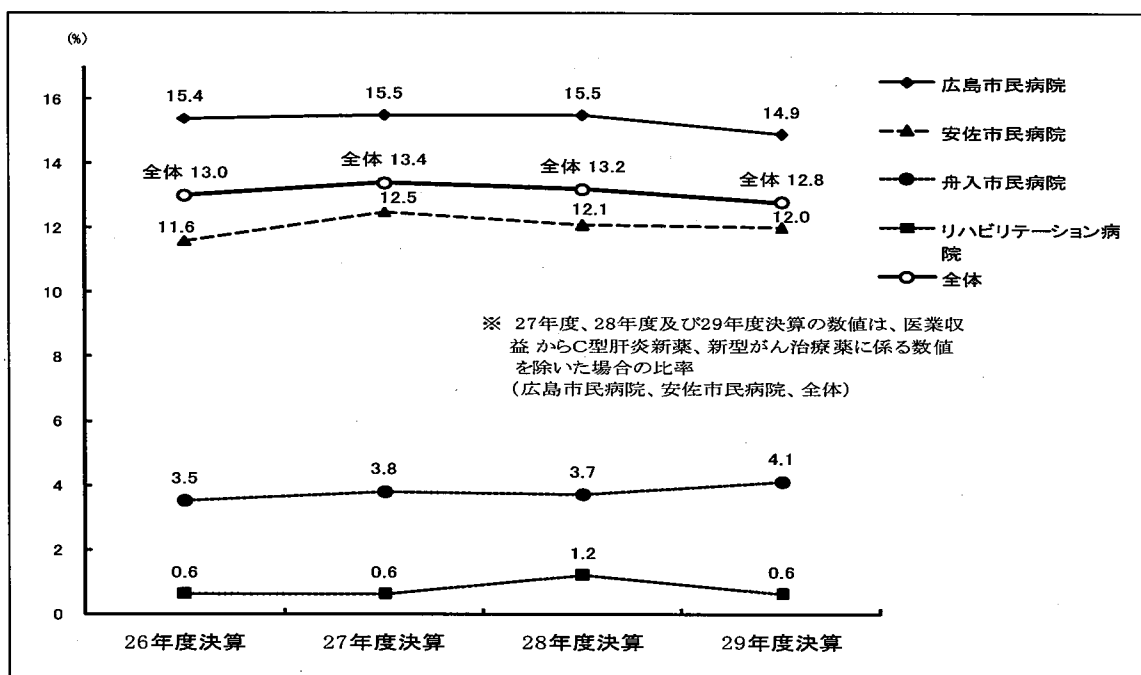
注 薬品費対医薬収益比率=[薬品費/医薬収益(入院収入+外来収入+その他医薬収入)]×100

(表20) 材料費のうち診療材料費

単位:億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	42.7	44.1	44.3	43.4
対前年度増減	-	1.4	0.2	▲ 0.9
安佐市民病院	17.2	18.5	18.6	19.3
対前年度増減	-	1.3	0.1	0.7
舟入市民病院	1.0	1.1	1.1	1.2
対前年度増減	-	0.1	0.0	0.1
リハビリテーション病院	0.1	0.1	0.2	0.1
対前年度増減	-	0.0	0.1	▲ 0.1
計	61.0	63.8	64.2	64.0
対前年度増減	-	2.8	0.4	▲ 0.2

(図4) 診療材料費対医業収益比率



注 診療材料費対医業収益比率=[診療材料費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

※ 材料費の内訳として主なものを記載しており、この他に、給食材料費、医療消耗備品費があることから内訳の合計額は、決算額には一致しない。

(表21) 経費

単位:億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	31.6	31.9	33.7	35.0
対前年度増減	-	0.3	1.8	1.3
安佐市民病院	17.8	17.8	19.7	20.8
対前年度増減	-	0.0	1.9	1.1
舟入市民病院	7.9	8.5	8.1	8.4
対前年度増減	-	0.6	▲ 0.4	0.3
リハビリテーション病院	4.4	5.0	4.3	4.7
対前年度増減	-	0.6	▲ 0.7	0.4
計	61.7	63.2	65.8	68.9
対前年度増減	-	1.5	2.6	3.1

(表22) 減価償却費

単位:億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	18.8	23.4	23.1	24.6
対前年度増減	-	4.6	▲ 0.3	1.5
安佐市民病院	8.4	10.8	12.3	12.1
対前年度増減	-	2.4	1.5	▲ 0.2
舟入市民病院	2.7	3.7	4.1	3.5
対前年度増減	-	1.0	0.4	▲ 0.6
リハビリテーション病院	2.0	2.1	2.4	2.2
対前年度増減	-	0.1	0.3	▲ 0.2
計	31.9	40.0	41.9	42.4
対前年度増減	-	8.1	1.9	0.5

(表23) その他の支出

## ア 費目別

単位:億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
資産減耗費	0.2	0.8	0.3	0.2
対前年度増減	-	0.6	▲ 0.5	▲ 0.1
過年度損益修正損	2.2	0.7	0.9	0.5
対前年度増減	-	▲ 1.5	0.2	▲ 0.4
長期借入金・移行前地方債利息	7.7	7.3	6.6	5.8
対前年度増減	-	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 0.8
その他	1.5	1.5	1.3	1.8
対前年度増減	-	0.0	▲ 0.2	0.5
計	11.6	10.3	9.1	8.3
対前年度増減	-	▲ 1.3	▲ 1.2	▲ 0.8

## イ 病院別

単位:億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
広島市民病院	7.2	6.9	6.0	5.6
対前年度増減	-	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 0.4
安佐市民病院	1.4	0.8	0.8	0.9
対前年度増減	-	▲ 0.6	0.0	0.1
舟入市民病院	1.4	1.3	1.3	1.1
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.0	▲ 0.2
リハビリテーション病院	1.6	1.3	1.0	0.7
対前年度増減	-	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.3
計	11.6	10.3	9.1	8.3
対前年度増減	-	▲ 1.3	▲ 1.2	▲ 0.8